

学校薬剤師による 中学生のお薬教育

(株)健栄 みずき薬局成田店

大橋 綾子

【はじめに】

小学校や中学校での「くすり教育」が開始された。また、医薬品医療機器等法第1条の6では国民に医薬品の適正使用と有効性及び安全性に関する知識と理解を深めるよう求めている。これらは、薬剤師の重大な責務の一つとして国民に対する薬教育があることを示すものである。

薬剤師による教育の一貫として演者らが行った中学生へのおくすり教育後のアンケートから、その効果及び医薬品についてどのような興味を持ったかを調査し解析を行った。

【実施方法】

実施日 : 平成28年6月10日

実施施設 : 佐倉市立臼井西中学校

対象者 : 3年生121人

実施内容 : 薬害と副作用・正しい薬の使い方・アンチドーピング・規制薬物・特定保健用食品、健康食品・地域の医療資源

実施時間 : 60分間1コマ

アンケート調査 : くすりの適正使用協議会の示す様式を使用

【講演内容】

学校薬剤師に求められている学習要項

保健・医療機関や医薬品の有効利用

保健所や保健センターの役割(公衆衛生)

医薬品の主作用、副作用、用法用量、薬剤師への相談、サプリメントや特保について理解する

伝えなかったため追加した内容

アンチドーピング、危険ドラッグ、薬害と副作用の違いを理解する

使用スライドの一部の紹介

色々な薬

色々な薬



- Q1 薬が出来るまでにかかるお金は？
約150億円～200億円
- Q2 薬が出来るまでの期間は？
8年から15年以上
- Q3 薬になる確率は？
6000分の1
- Q4 みずき薬局にある一番高い薬はいくら？
54796.9円/1錠

ドーピングと うっかりドーピング



興味を示した内容 ドーピングについて

シャラポフ選手は2006年以降、「メルドニウム」という薬物を服用していた。不整脈など健康上の理由から、医師から処方されたものだ。2016年1月の全豪オープンでドーピング検査を受けた際に、違反が発覚した。世界アンチ・ドーピング機構(WADA)の禁止薬物リストに、メルドニウムが2016年初めから新たに加わったためだ。

2016年3月8日付のCNN(日本語版)記事によると、WADAは2015年9月にメルドニウムを禁止する方針を決め、同年12月22日にはシャラポフ選手にもWADAから禁止薬物の更新版が通知されていたが、その確認を怠ったという。シャラポフ選手は「大きな過ちを犯した」と自身の責任を認めたが、意図的な禁止薬物の使用ではなく、あくまでもミスによるものだと主張した。

「知らなかった」「忘れていた」が原因の「うっかりドーピング」。本人に悪意はなくても、結果的には「違反」として厳しい処分が下される。日本国内の各競技団体はこれを防ごうと、広報活動をしている。

禁止薬物リストって何？
医者が出した薬がドーピングになる
うっかりでも違反になるの？
禁止薬ってどうしたら調べられるの
ドーピング違反の処分は？



ドーピング？



興味を示した内容 規制薬物について

規制薬物

法律が取り締まっている。

麻薬、向精神病薬取締法

覚せい剤取締法

あへん法

大麻取締法

毒物及び劇物取締法

指定薬物(危険ドラッグ)



なぜ危険ドラッグが“危険”なのか

医薬品開発時の健常人による効果判定

もちろんお金をもらって参加。

健康被害が起きていないか検査する態勢が整ってる

危険ドラッグは？

お金を払って自分の体で試している！



こんな風に思っていない？

☆一度だけなら、中毒にならない

☆意志が固いから、いつでもやめられる

☆外国ではみんなやってるから平気・・・

そんな生やさしいものは

法律で厳しく規制しない

大麻やドラッグ類は断固拒否

出会ってしまったら、

一人で悩まず誰かに相談する

アンケート用紙

平成 年 月 日

②中学・高校・一般向け「くすりの講義」についてのアンケート



____ 中学・高校（ 年 組）

____ その他（ 才）

■ 講義の内容は理解できましたでしょうか？ 該当する番号に○をお付けください。

①よく理解できた ②理解できた ③ふつう ④よく理解できなかった ⑤理解できなかった



■ 前の問いで④又は⑤と回答した方にお聞きます。理解できなかった点は何ですか？

■ もし、あなたが病気になるって医薬品を使用する場合、今回の講義は参考になると思われ
ますか？

1) 大変参考になると思う 2) まあ参考になると思う 3) 参考にならないと思う

■ 前の問いで1) 又は2) と回答した方にお聞きます。特に参考になると思われた点は何
ですか？

■ 今回の講義の内容について、家族や友人、周囲の方と話そうと思われませんか？

1) 話すと思う 2) 話さないと思う

■ 今回の講義で面白かった（興味深かった）点は何ですか？
また、医薬品のことでもっと詳しく知りたいことがあれば併せてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

アンケート結果

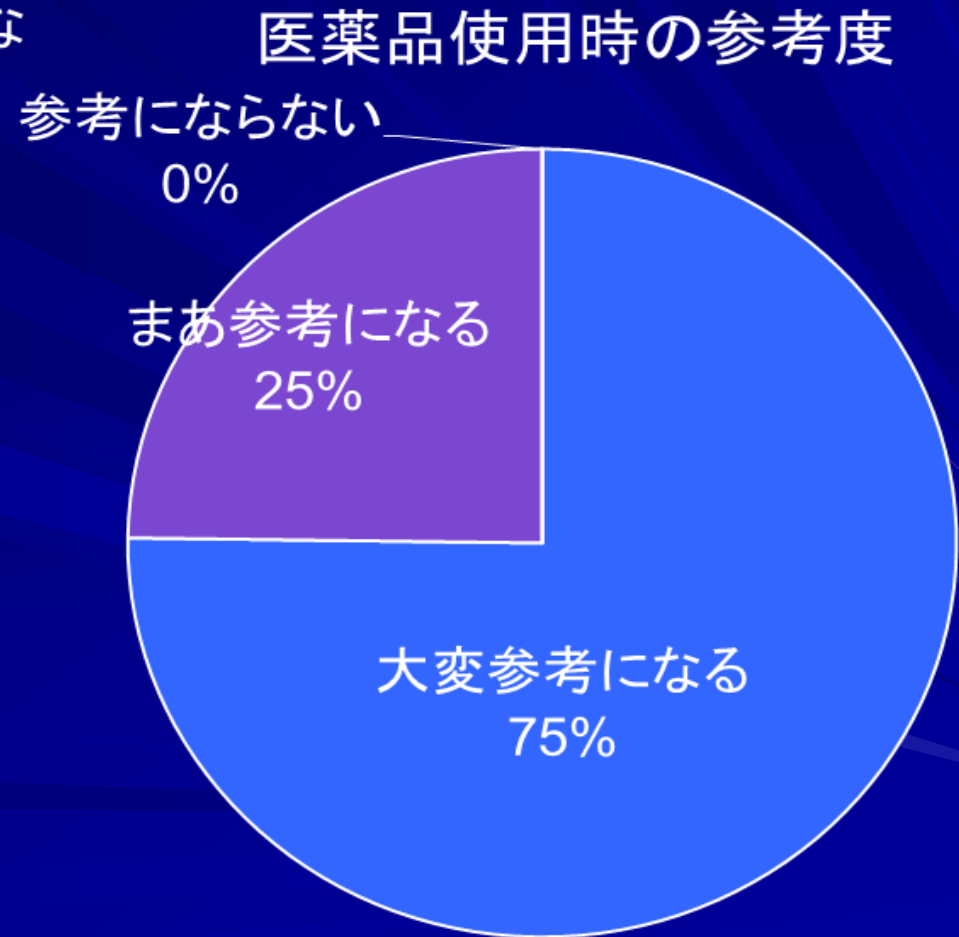
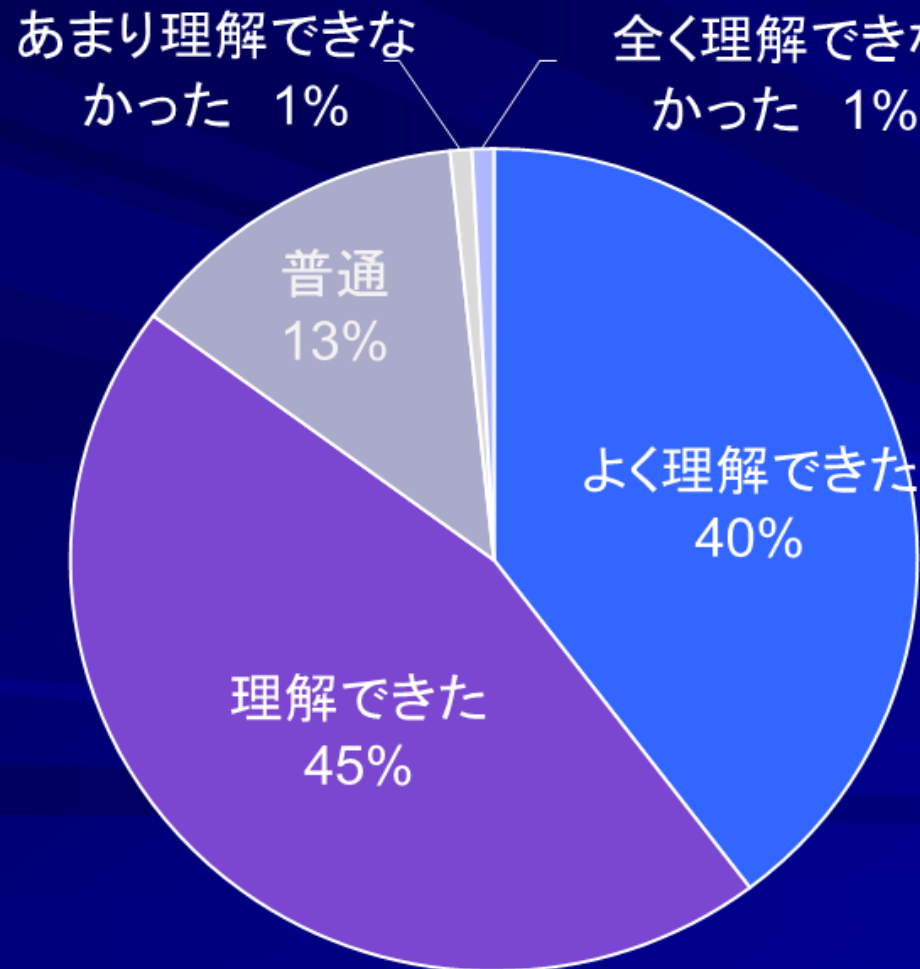
回収数 121人(100%)

講義の理解度				
よく理解できた	理解できた	普通	あまり理解できなかった	全く理解できなかった
48人(40%)	55人(45%)	16人(13%)	1人(1%)	1人(1%)

医薬品使用時の参考となるか		
大変参考になる	まあ参考になる	参考にならない
91人(75%)	20人(25%)	0人(0%)

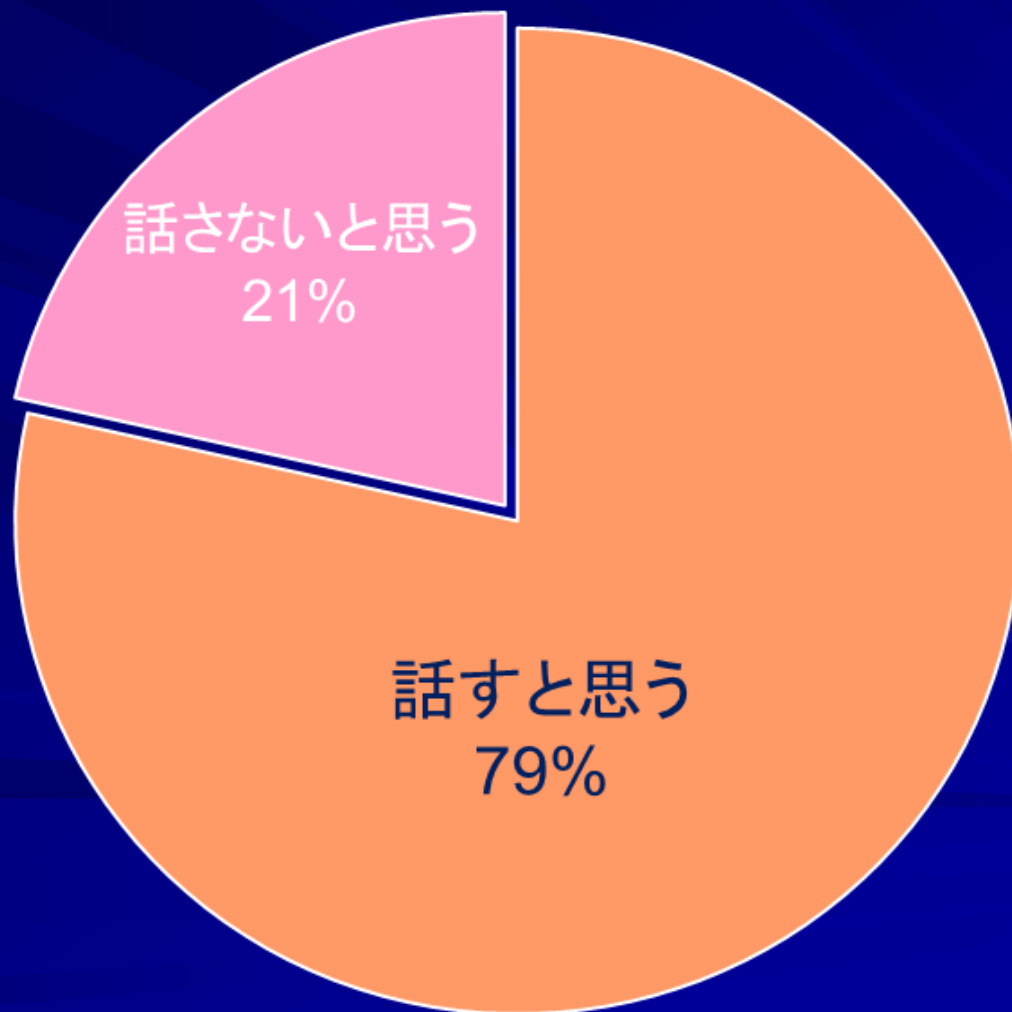
講演内容を他者に伝えるか	
伝えると思う	伝えないと思う
95人(79%)	16人(21%)

アンケート結果



中学生へのお薬教育の波及効果

家族や友人に話したいか



「興味深かった」 と回答があった内容

ドーピングについて

薬害と副作用の違い

カフェインの過剰摂取

サプリメント

エナジードリンク

薬が開発されるまでの機関と金額

「もっと詳しく知りたい」 と回答があった項目

薬について

副作用、味(どうして苦い)、麦茶で飲んでよいか、
開発費用の拠出先、臨床試験の報酬、予防接種の
アレルギー対応、服用中止のタイミング、ケトプロフ
ェン使用時、使用後の注意事項

健康食品 エナジードリンクの効果

ドーピングについて

TUE、WADA、血液ドーピング、尿検査陽性になる

服用タイミング

タバコ なぜやめられないか

小児の年齢 年度か誕生日か

【アンケート結果の考察】

1 講演内容・表現と理解度

85%の生徒の理解が得られたことから、今回の講演に効果があったことが示された。

これは、内容は広範囲であったが理解を促すために、画像を多くし、トピックスを多く取り入れるなどの工夫によるものと考えられる。

しかし、理解度が「ふつう」または「理解できなかった」生徒が15%いた。その原因が講義の内容や表現に難解な部分や興味を引かなかったのであれば、さらなる工夫が必要であると考える。

2 講演内容検討の必要性

生徒が身近な医薬品の使用について関心が深かったこと、さらに知りたい内容があると思ったことが示された。また、医薬品以外にも薬剤師が関わる事柄にも興味を示していることが示された。

これらのことから、今後の講義の内容にも検討が必要であると考ええる。

3 生徒・学生へのお薬教育の波及効果

講演内容について家族や友人に話すと回答した生徒が多く、学校薬剤師による生徒・学生へ教育が国民の医薬品の適正使用に貢献する手立ての一つなるものと考ええる。

【示された問題点】

講演時間：コマ数増加の可能性の検討

講演内容が広い範囲のため、60分間1コマでは内容が薄くならざるをえない

講演内容：精査と整理

薬剤師として伝えておきたいことの明確化

中学生が興味を示した内容の追加

アンチドーピングや危険ドラッグなど普段の生活に近い内容の追加の検討

波及効果の追跡調査の必要性の検討

家庭での受け止められ方